







道内の感染状況等について (案)

【令和3年11月19日】

主な指標の状況

	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率	入院率	病床使用率	
全道 (11/18)	2.8 人/週 (148人/週) 	34.5% 	1.0% 	1.9% (38床) 	—	1.5% (2床) 	3.2人 (167人) 
道ステージ2基準 (国ステージII)	2人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	増加	増加	—	増加	増加

※()は実人数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

※入院率は、入院できない自宅療養者数の増加等を把握するための指標であり、療養者数が10万人あたり10人以上の場合に適用。

地域における主な指標の状況

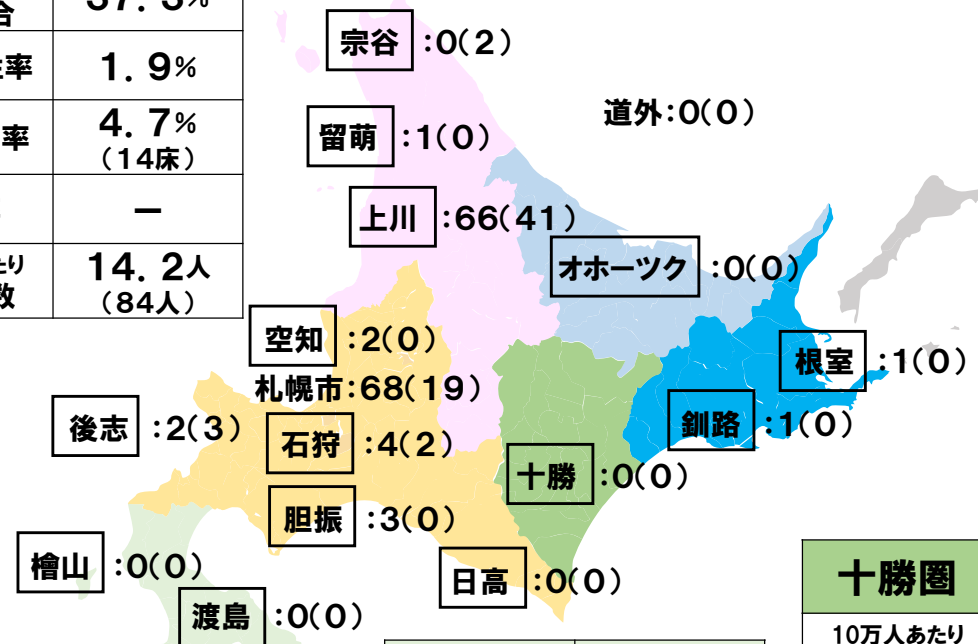
【11/18現在】

札幌市	指標値
10万人あたり新規感染者数	3.5人/週 (68人/週)
感染経路不明割合	27.9%
PCR陽性率	1.1%
病床使用率	3.0% (17床)
入院率	—
重症者用病床使用率	2.1%
10万人あたり療養者数	3.5人 (69人)

道央圏 (札幌市除く)	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.8人/週 (11人/週)
感染経路不明割合	45.5%
PCR陽性率	0.5%
病床使用率	1.3% (6床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.9人 (12人)

道北圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	11.4人/週 (67人/週)
感染経路不明割合	37.3%
PCR陽性率	1.9%
病床使用率	4.7% (14床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	14.2人 (84人)

新規感染者数(振興局別)
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



道南圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

十勝圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

オホーツク圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

釧路・根室圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.7人/週 (2人/週)
感染経路不明割合	100%
PCR陽性率	0.7%
病床使用率	0.5% (1床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.7人 (2人)

※地域別の感染状況や医療提供体制等の負荷は、変動が大きくなる場合があることに留意。 2

総 評

【感染状況】

- 旭川市内において感染確認が継続している。また、札幌市内の医療施設において大規模な集団感染が確認され、全道の新規感染者数が押し上げられている。

【医療提供体制】

- 療養者数、入院患者数についても、旭川市及び札幌市の新規感染者数の増加に伴い、増加。

【ワクチン】

- 道民の78%を超える方が1回目の接種を、75%を超える方が2回目の接種を終えた。
- 追加(3回目)接種については、2回目接種完了から原則8か月以上経過した18歳以上の方を対象に、12月から順次開始。

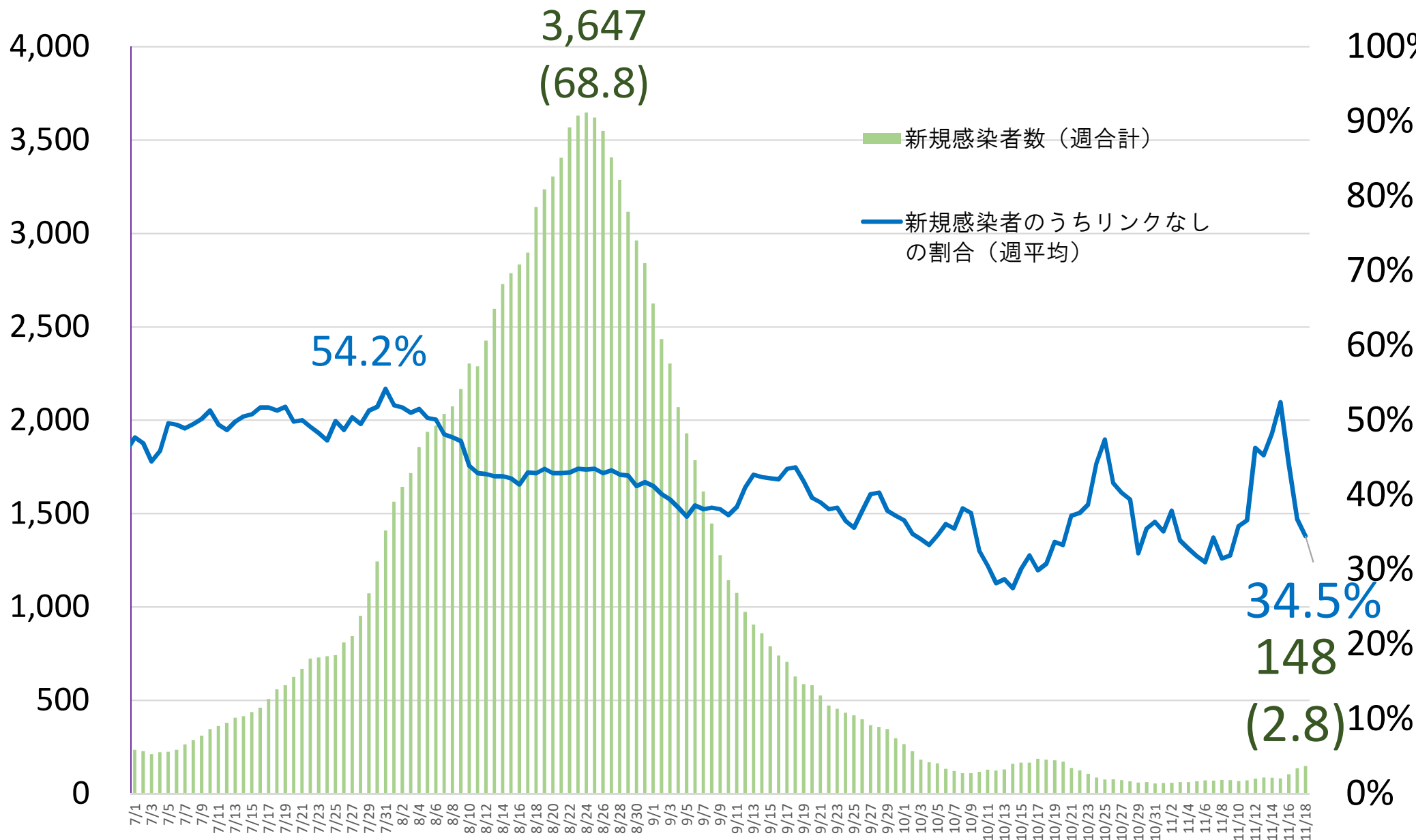
【今後の対策】

- 気温が低下し、屋内での活動が増えるとともに、今後、忘年会等の行事により、さらに社会経済活動の活発化が想定されることから、引き続き、換気を含めた基本的な感染防止行動の実践を呼びかける。
- 特に旭川市内においては、市と連携して、引き続き、疫学調査の徹底や幅広い検査により、感染経路の把握や濃厚接触者の特定に取り組むとともに、飲食店や市民への注意喚起、さらには、未接種者へのワクチン接種の促進を図る。
- また、札幌市内における集団感染の抑え込みに取り組むとともに、医療施設における感染予防策について改めて徹底を図る。
- 次の感染拡大に備えて、国が示した全体像を踏まえながら、保健・医療提供体制の確保、新たなレベル分類に基づく道の警戒ステージの見直しの検討、第三者認証制度の普及促進などに取り組む。
- 3回目接種に向けて、ワクチンの円滑な供給など、市町村への支援等に取り組む。

感染状況(新規感染者数と感染経路不明割合)(全道)

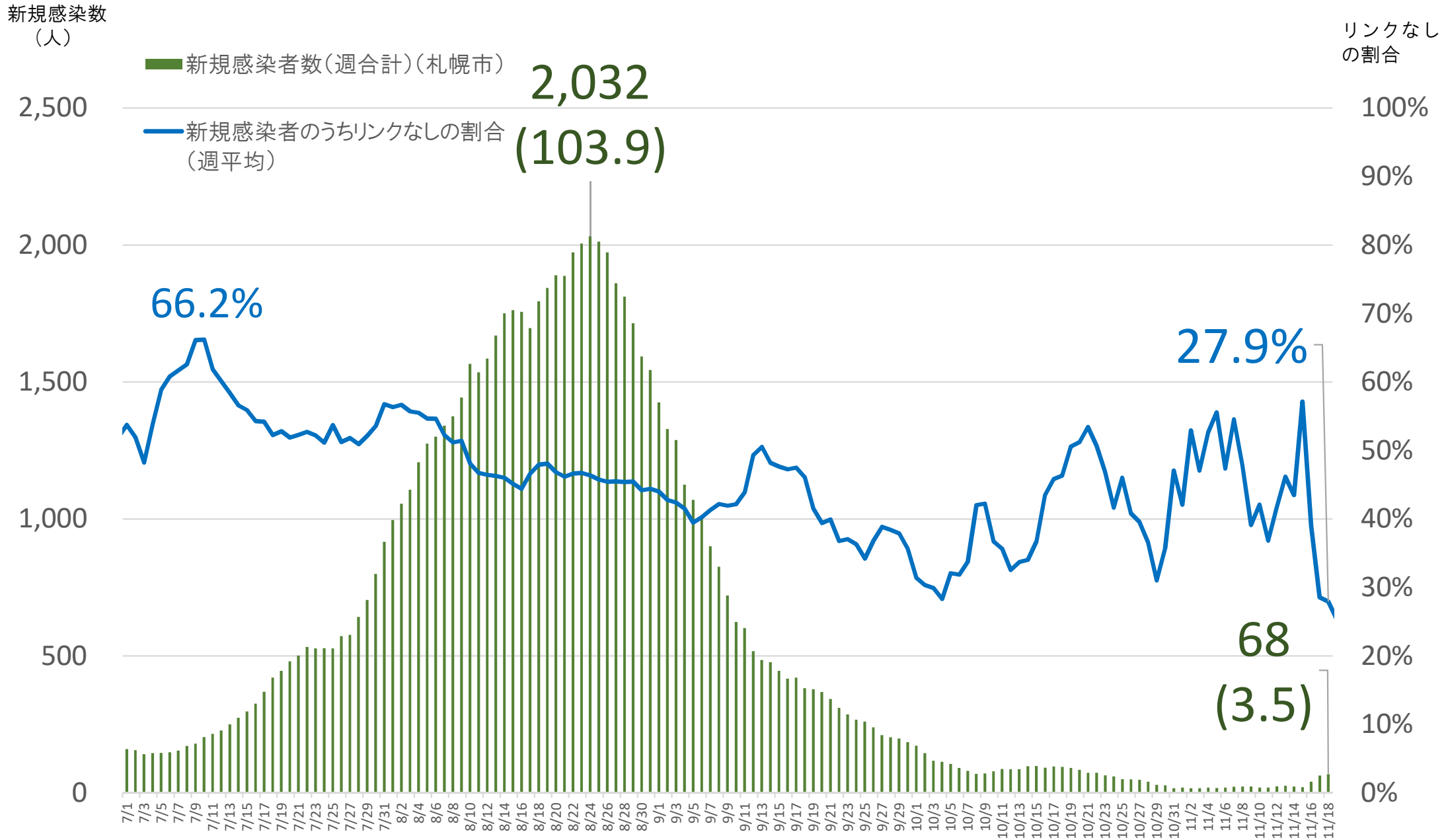
新規感染数(人)

リンクなしの割合



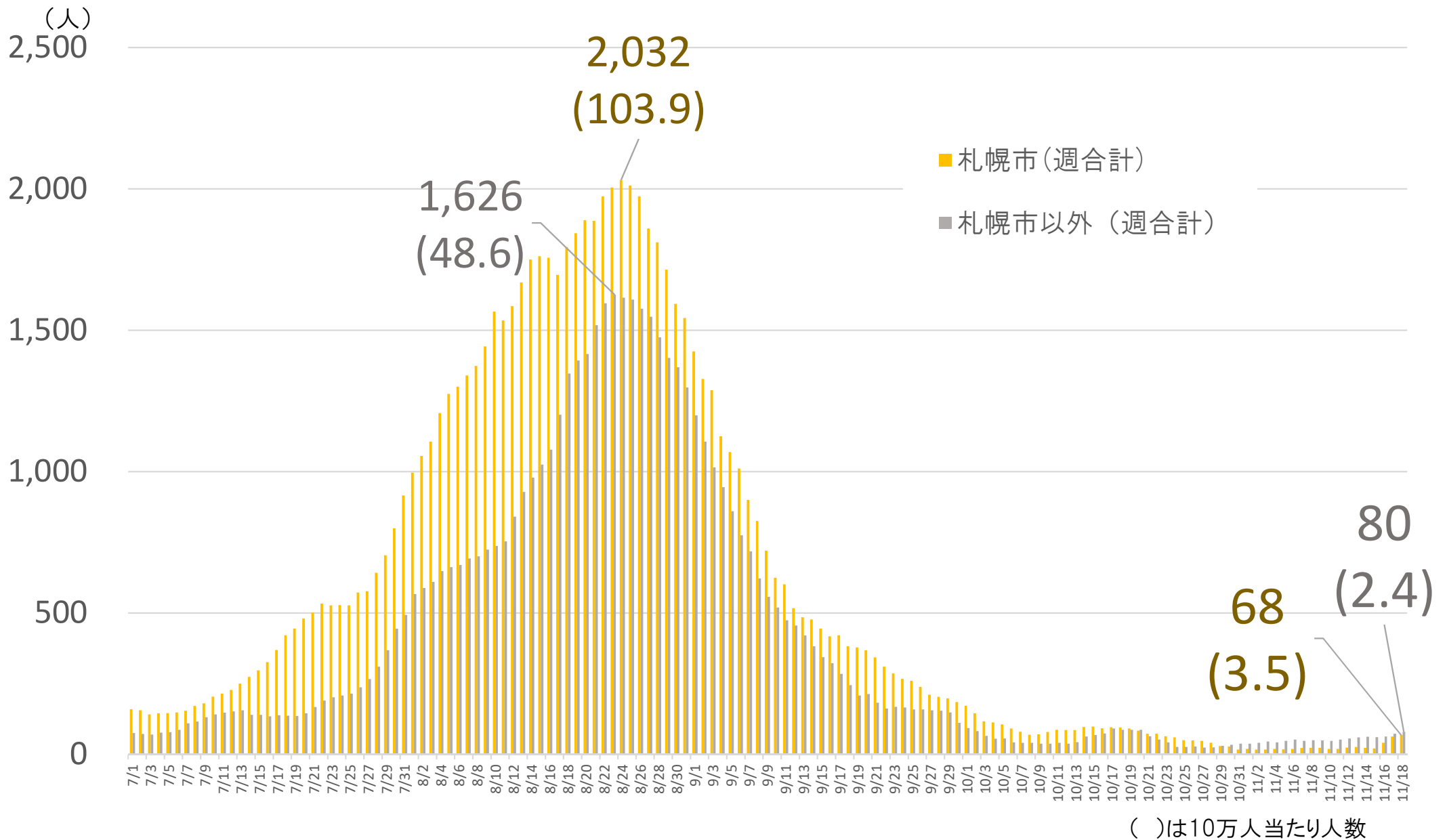
()は10万人当たり人数

札幌市の感染状況



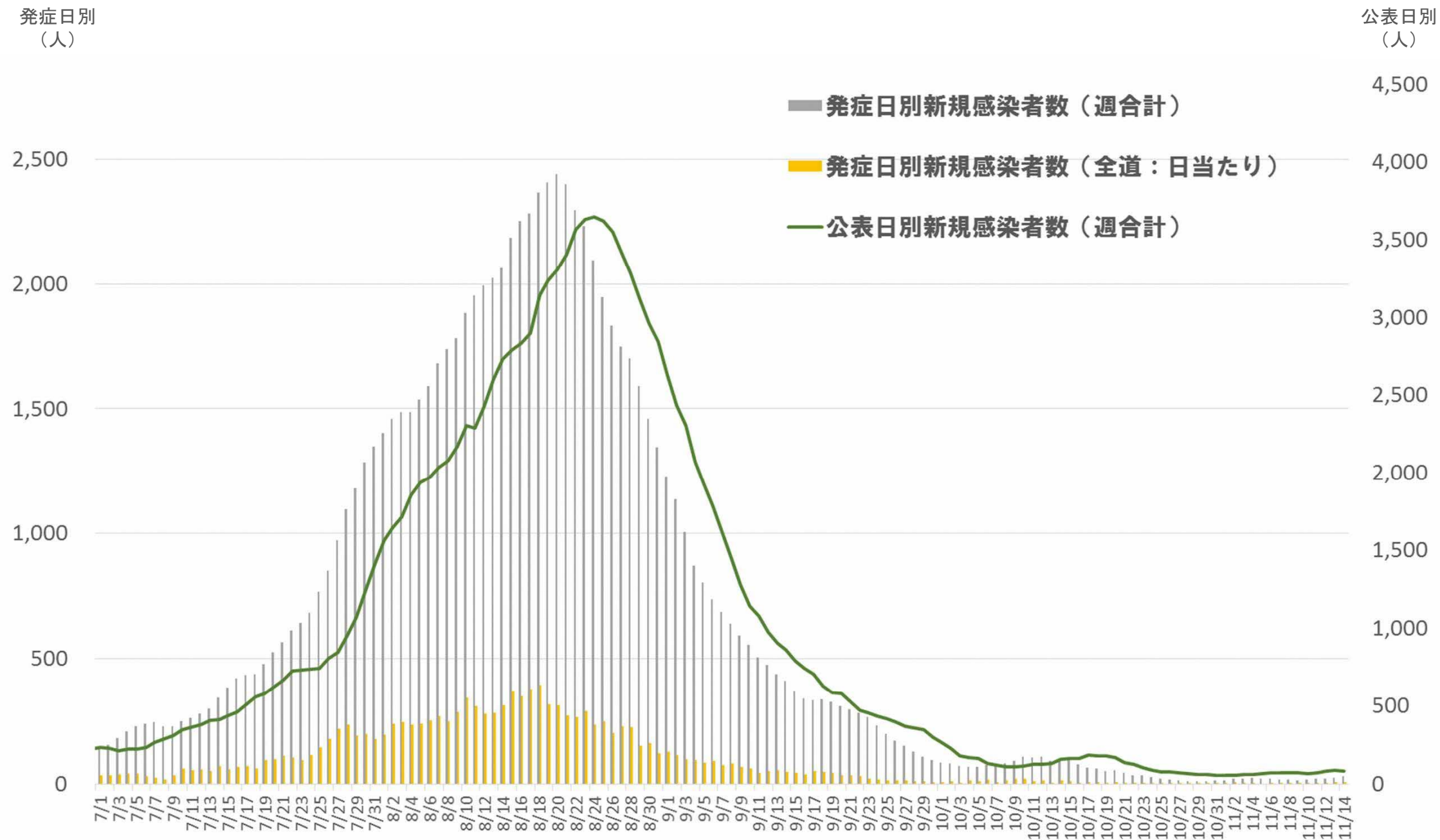
()は10万人当たり人数

新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



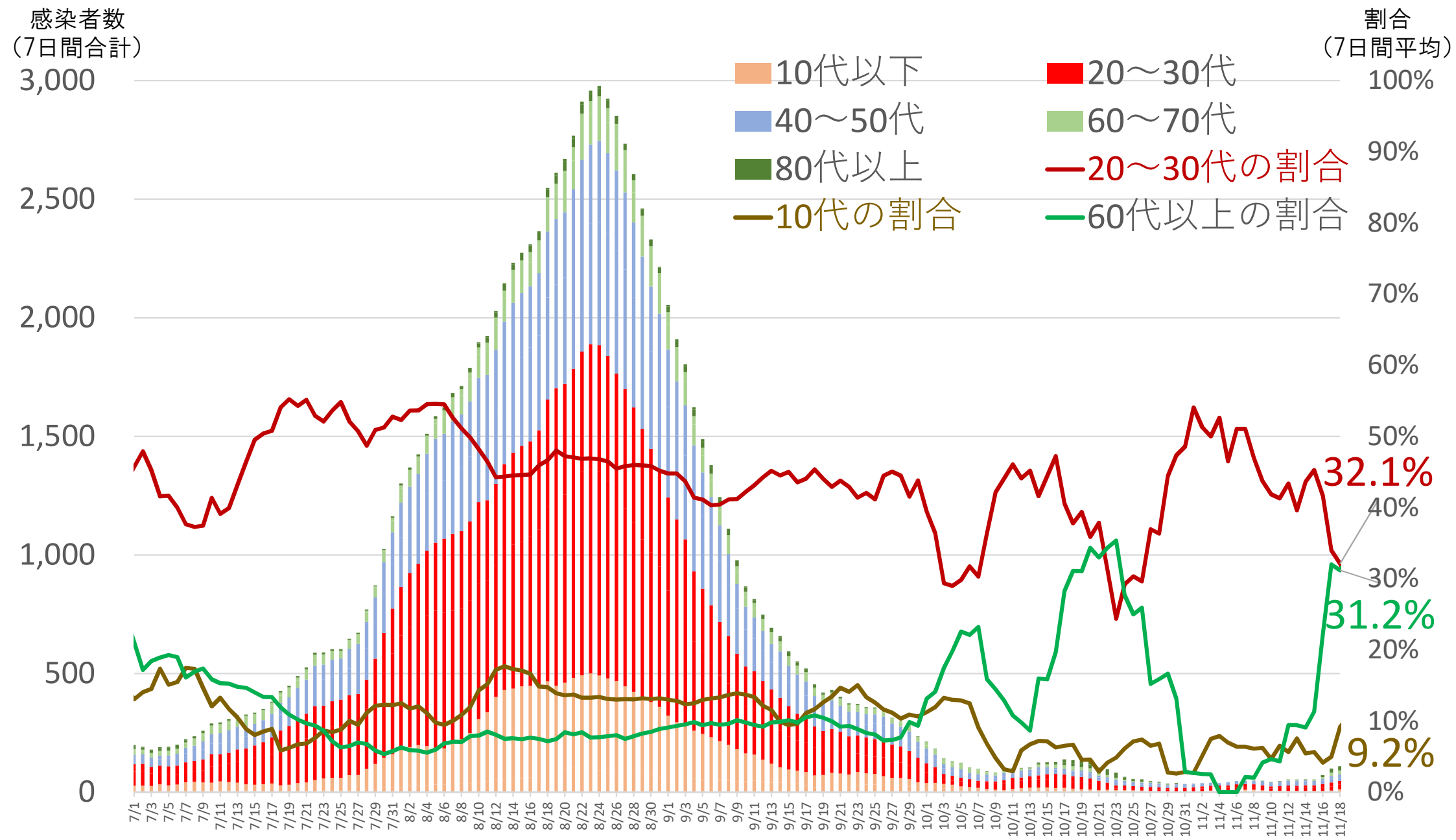
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数の推移(全道)

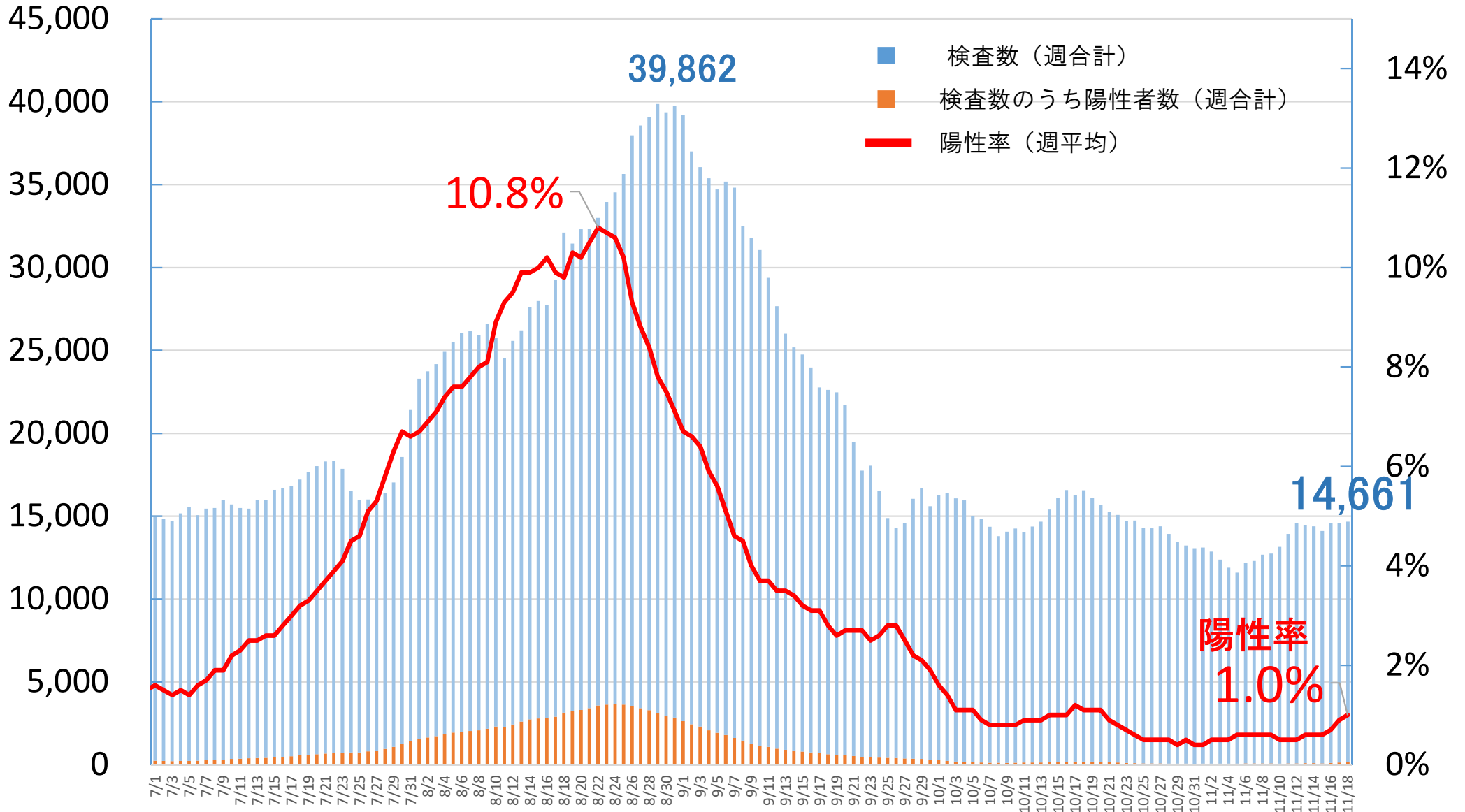


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

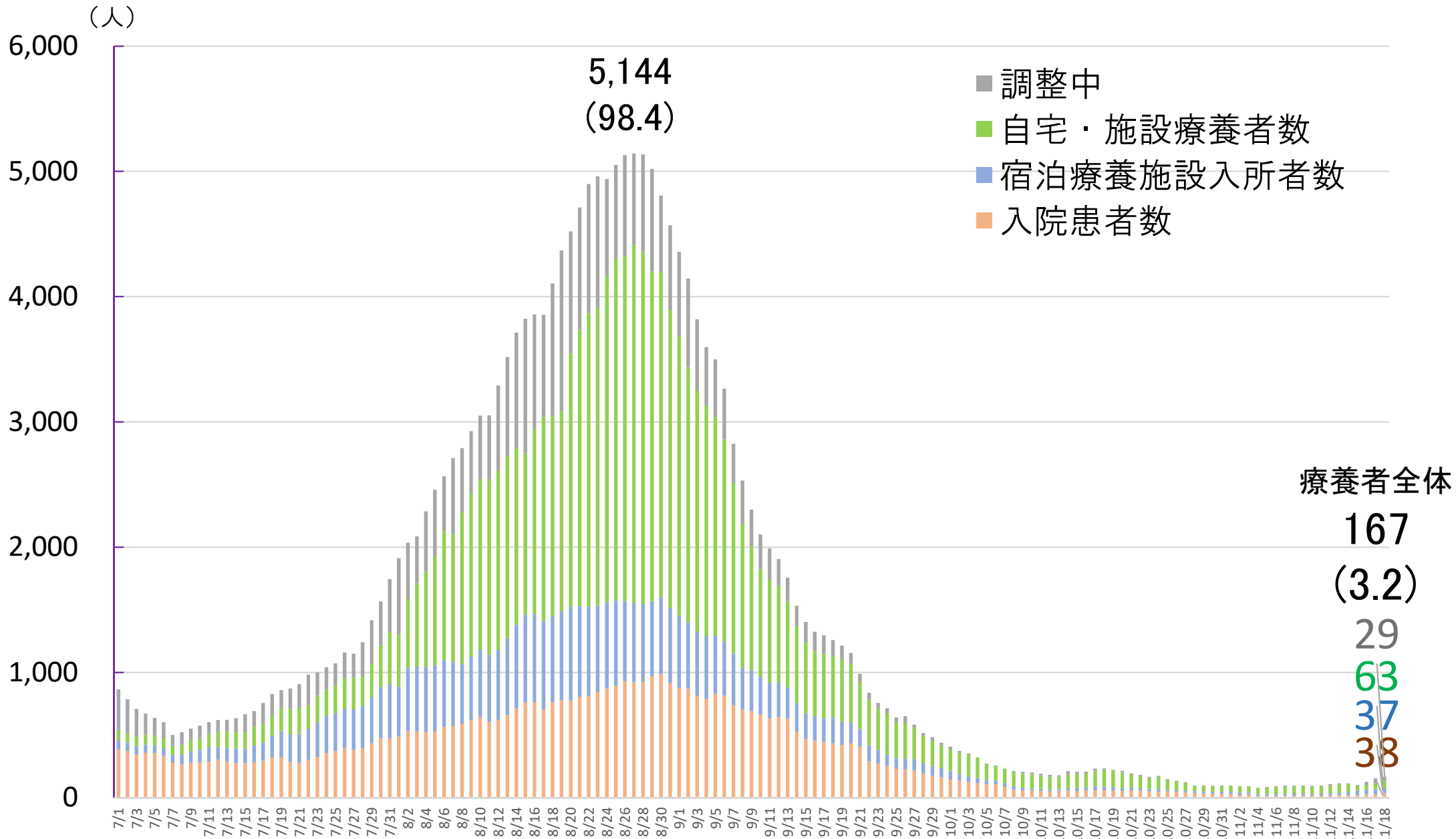
感染状況(陽性率と検査数)(全道)

検査数 (人)

陽性率



医療提供体制等の負荷(療養者全体)(全道)

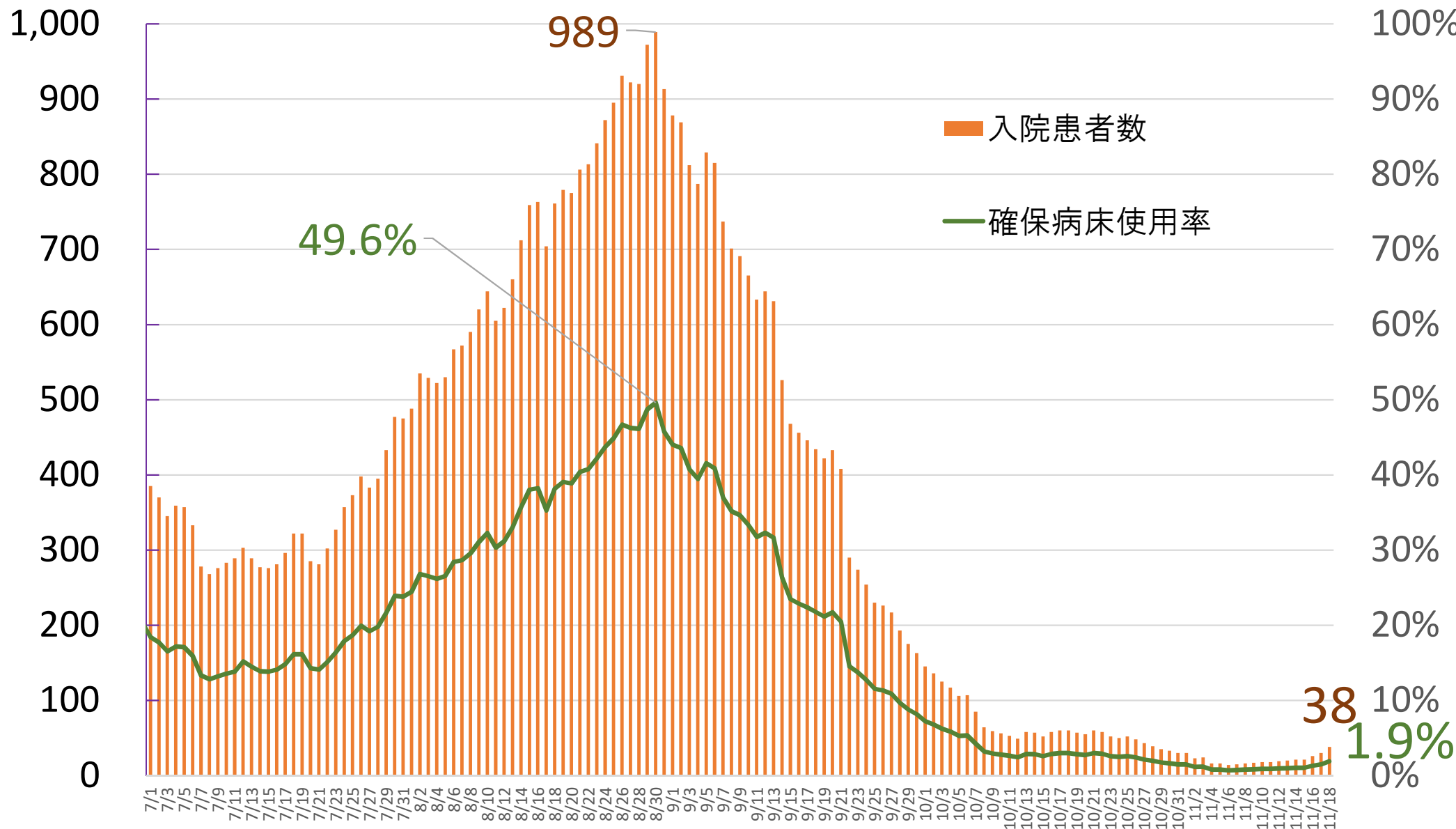


※「調整中」は、入院、宿泊療養、自宅療養、施設療養といった対応を調整している人数で、翌日以降、入院や宿泊療養などの対応が確定するもの。
 ※()は10万人あたり療養者数

医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)

入院患者数 (人)

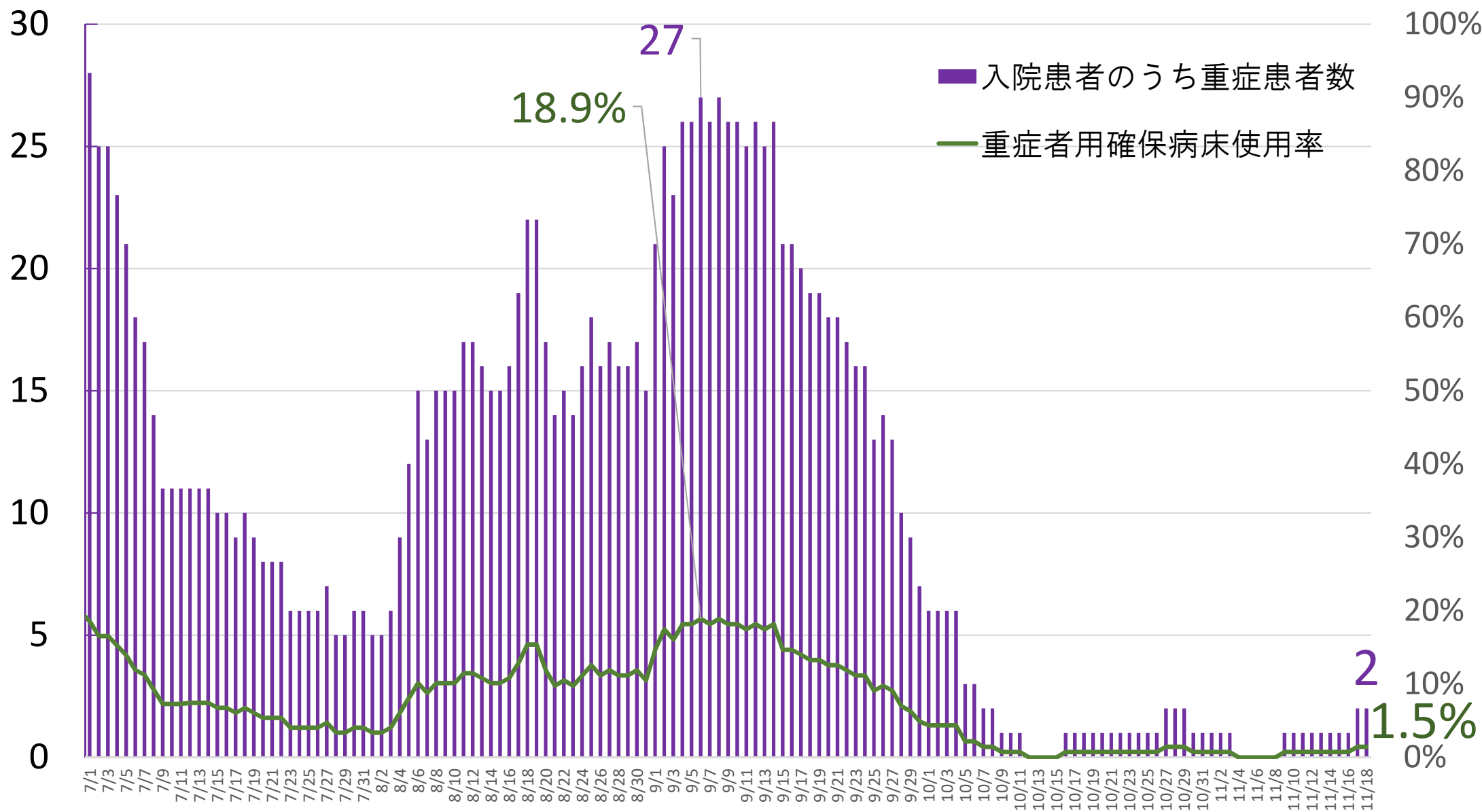
病床使用率



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)

入院患者数 (人)

病床使用率



集団感染の発生状況(全道)

	7月	8月	9月	10月	11月 (11/1~18)
医療施設 福祉施設	5件 (55人)	29件 (337人)	15件 (125人)	3件 (91人)	2件 (45人)
事業所等	18件 (142人)	52件 (535人)	26件 (202人)	3件 (28人)	—
飲食店等	11件 (80人)	31件 (274人)	5件 (34人)	4件 (46人)	3件 (23人)
学校	9件 (147人)	20件 (415人)	16件 (121人)	—	1件 (6人)
合 計	43件 (424人)	132件 (1561人)	62件 (482人)	10件 (165人)	6件 (74人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌市以外)

	10/29~11/4		11/5~11		11/12~18	
	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外
医療施設 福祉施設	—	—	—	—	1件 (36人)	1件 (9人)
事業所等	—	—	—	—	—	—
飲食店等	—	2件 (13人)	—	1件 (9人)	—	1件 (8人)
学校	—	—	—	—	—	1件 (6人)
合 計	—	2件 (13人)	—	1件 (9人)	1件 (36人)	3件 (23人)

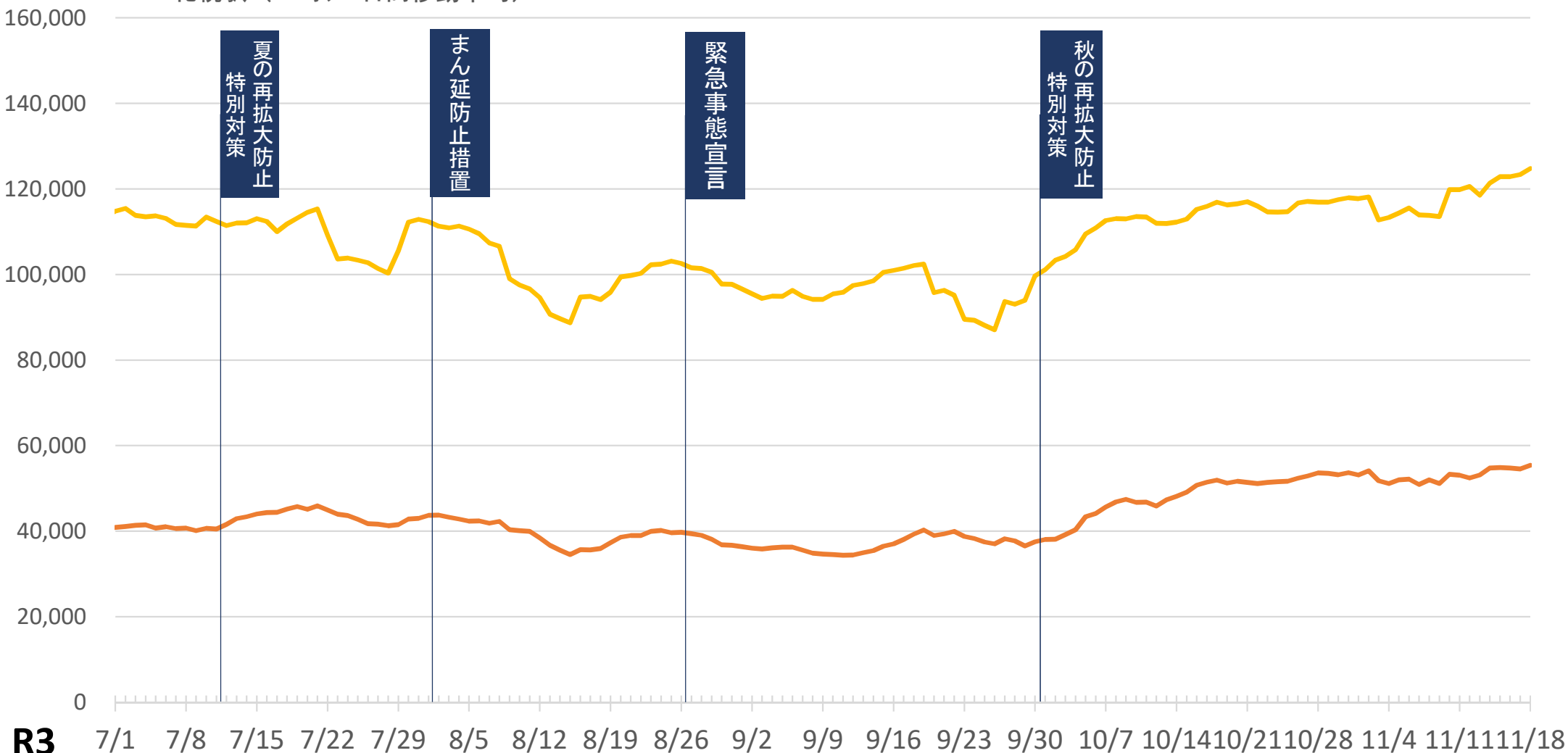
※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

札幌市の人出(札幌駅周辺)

— 札幌駅 (15時、7日間移動平均)

— 札幌駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

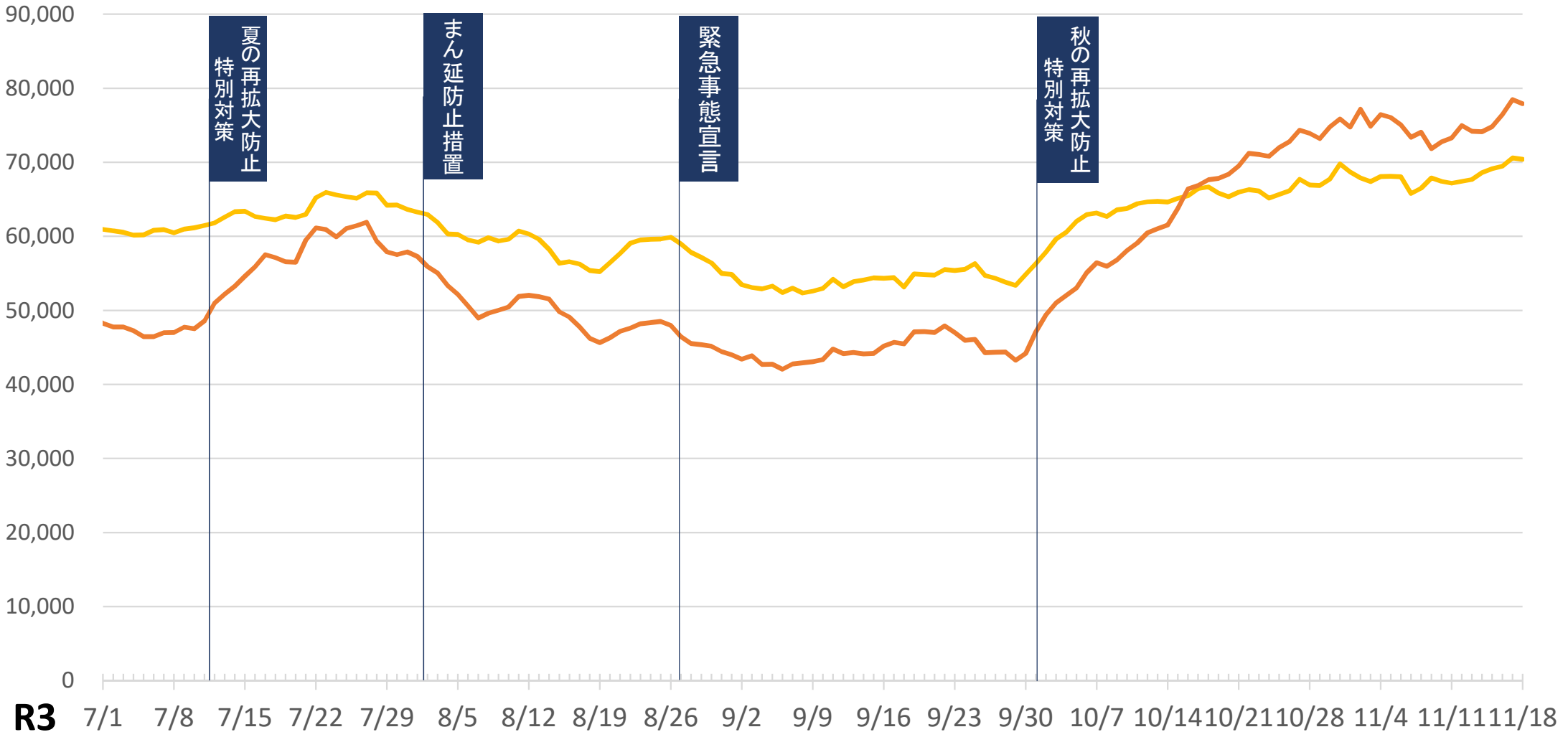
① 秋の再拡大防止特別対策前との比較(人)			
	R3.9.30	R3.11.18	(9/30比)
15時	99,674	122,054	(+22.5%)
21時	37,502	54,275	(+44.7%)

② 重点地域終了前との比較(人)			
	R3.10.14	R3.11.18	(10/14比)
15時	112,252	122,054	(+8.7%)
21時	48,128	54,275	(+12.8%)

札幌市の人出(すすきの駅周辺)

—すすきの駅 (15時、7日間移動平均)
—すすきの駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

① 秋の再拡大防止特別対策前との比較(人)			
	R3.9.30	R3.11.18	(9/30比)
15時	54,847	69,036	(+25.9%)
21時	44,192	75,842	(+71.6%)

② 重点地域終了前との比較(人)			
	R3.10.14	R3.11.18	(10/14比)
15時	64,622	69,036	(+6.8%)
21時	61,514	75,842	(+23.3%)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。11/17現在)

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,096,058	78.3%	3,924,935	75.1%
(参考) 全 国	98,798,710	78.0%	95,476,393	75.4%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。
なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力 of 職域接種分は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。11/17現在)

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率		(参考) 全国の接種率 (11/14現在)	
		1回目	2回目	1回目	2回目
12～19歳	344,205 (6.6%)	69.2%	58.3%	73.0%	65.2%
20～29歳	461,395 (8.8%)	73.3%	68.0%	74.1%	69.1%
30～39歳	545,877 (10.4%)	75.9%	71.8%	76.2%	71.9%
40～49歳	733,566 (14.0%)	81.3%	78.5%	81.4%	78.4%
50～59歳	697,270 (13.3%)	87.7%	85.6%	88.5%	86.3%
60～64歳	338,612 (6.5%)	89.6%	88.2%	89.5%	88.1%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	93.4%	92.7%	93.1%	92.5%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 道内人口区分別接種状況(医療従事者等分を含む。11/17現在)

人口区分(市町村別)	市町村数	人口(人)	接種率(全年代)	
			1回目	2回目
100万人以上	1	1,961,575	75.9%	71.9%
20万人以上	2	583,288	77.7%	73.5%
10万人以上	6	849,242	78.7%	75.1%
3万人以上	13	722,259	78.9%	76.1%
1万人以上	33	578,442	81.5%	79.8%
5千人以上	39	272,482	82.9%	81.3%
3千人以上	41	165,341	83.4%	82.1%
3千人未満	44	96,103	84.5%	83.3%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。

なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力職域接種分は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について①

- 追加(3回目)接種については、国の審議会での議論等を踏まえ、次のとおり実施することとされた。道としても、12月からの追加接種が可能となるよう、市町村等との調整を進める。

区 分	内 容
目 的	新型コロナウイルスワクチンを接種したすべての者において感染予防効果が経時的に低下すること、また、高齢者においては重症化予防効果についても経時的に低下する可能性を示唆する報告があること等を踏まえ、感染拡大防止及び重症化予防の観点から実施。 ※1回目・2回目接種が完了していない方への接種機会も継続して提供
対 象 者	18歳以上の2回目接種完了者 ※重症化リスクの高い方、職業上の理由等によりウイルス曝露リスクの高い方などについては特に追加接種を推奨
使用するワクチン	1回目・2回目接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNAワクチンを使用 ※当面は薬事承認されているファイザー社製ワクチンを使用。モデルナ社製ワクチンの使用は、薬事審査の結果を待ってあらためて議論。
2回目接種完了からの接種間隔	2回目接種完了から原則 8か月以上 ※地域の感染状況、クラスターの発生状況など非常に特殊な状況の場合には、事前に国と相談した上で、6か月以上で接種した場合も予防接種法に基づく接種の扱いは変えない。
実 施 期 間	R3.12.1～R4.9.30
そ の 他	職域接種については、1・2回目を実施した企業・大学等のうち、実施を希望する場合には、R4年3月から追加接種を開始予定(11/26(金))に国が企業等向け説明会を実施)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について②

【追加(3回目)接種の想定スケジュール(11/17厚生労働省自治体向け説明会資料等より)】

日付	内容
11/16(火)	ファイザー社製ワクチンの追加接種に係る改正省令等の公布
11月中下旬	各市町村から接種券を順次送付開始予定
12/1(水)	追加接種関係改正省令等施行、ファイザー社製ワクチン追加接種順次開始
12月下旬以降	モデルナ社製ワクチンの追加接種について、厚生科学審議会へ諮問
1月	モデルナ社製ワクチンの配分開始
2月	モデルナ社製ワクチンによる追加接種開始

【追加(3回目)接種に用いるワクチンの道内への配分予定等】

ファイザー社製				モデルナ社製
① 11/15~27	② 12/13~26 *	③ 2月 *	小計	① 1/24~30 *
114箱 (約13万回分)	449箱 (約53万回分)	284箱 (約33万回分)	847箱 (約99万回分)	4,792箱 (約72万回分)

*に係る市町村毎の配分量については、道において別途決定の上、通知予定。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 その他一般接種等について

- 5歳～11歳の小児への接種については、国の審議会でも有効性・安全性を整理した上で引き続き議論することとされたが、国からは、早ければ来年2月頃から接種が開始される可能性を念頭に接種体制の確保等の準備をするよう通知があったことから、道としても、国からの情報収集や市町村との調整等に努める。
- 道が構築し、道内市町村向けに公開・提供している、「北海道新型コロナウイルスワクチン接種総合システム」について、追加(3回目)接種を準備中の市町村における導入の検討に資するよう、同システムの紹介動画を作成し、YouTubeで公開。
※クラウドシステムの利用料等については、市町村が負担。
- アストラゼネカ社製ワクチンについて、9月11日から道内における接種を開始し、11月17日までの接種実績は計772回。
- 一般向け接種の進展に伴い、特に若年層のワクチン接種率の向上に資するよう、チラシの作成・配布、WEB広告など、ワクチンへの正しい理解の促進や非接種者への差別防止などに関する広報・周知等を実施。
- インフルエンザワクチンの接種も本格化している中、新型コロナウイルスとそれ以外のワクチンの同時接種はできないこと、他のワクチンと互いに2週間の間隔を取っていただく必要があること等について、道のホームページ等で注意喚起を実施。